

# 1. 評価報告概要表

作成日 平成20年1月4日

## 【評価実施概要】

事業所番号	1174800597
法人名	社会福祉法人 みな福祉会
事業所名	グループホーム大浜
所在地	〒369-1412埼玉県秩父郡皆野町大字皆野302番地2 (電話) 0494-63-1550

評価機関名	社会福祉法人 埼玉県社会福祉協議会 福祉サービス評価センター
所在地	埼玉県さいたま市浦和区針が谷4-2-65 彩の国すこやかプラザ
訪問調査日	平成19年10月25日

## 【情報提供票より】(平成19年10月1日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成17年4月1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	15 人	常勤10人, 非常勤5人, 常勤換算14.8人	

### (2) 建物概要

建物構造	鉄骨造り 2階建ての2階部分
------	-------------------

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	15,000+実費 円
敷金	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(300,000円)	有りの場合 償却の有無	有
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり		1,200円

### (4) 利用者の概要(10月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	7 名	要介護2	4 名		
要介護3	5 名	要介護4	2 名		
要介護5	0 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.7 歳	最低	56 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	金子医院・秩父中央病院・関口歯科医院
---------	--------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは平成17年4月社会福祉法人みな福祉会がデイサービスセンターと併設のグループホームとして開設した。秩父の山々に囲まれ、荒川を眺望できる風光明媚な自然環境の中にある施設である。ホーム内は木材がふんだんに使われ、温かみを演出している。社会福祉法人みな福祉会では、特別養護老人ホーム「悠湯ホーム」と、秩父市からの委託事業である「高篠デイサービスセンター」を運営しており、法人内のデイサービスセンターと特別養護老人ホームでは温泉の湯を利用して入浴することが可能である。当グループホームではこれら同一法人の施設と連携を取りながら利用者の支援をしている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の評価では介護計画の策定や見直しについて課題が残されていた。介護計画策定のための仕組みとして、ユニット会議への提案、計画作成担当者の家族へのヒアリング、本人への希望聴取や日ごろの観察などがルール化されてきている。グループホームの入り口がわかりにくいという指摘もあったが、前回評価後、早々に入り口に職員の手作りの案内板が設置され、温かく訪問者を迎えている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>今回の自己評価は職員会議での議論を経て、所長が作成している。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議のメンバーは決定し、メンバーの了解も得られているが、まだ会議は開催されていない。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>管理者を通して家族から十分な情報を収集し、家族から出た要望等については施設運営に反映させている。家族アンケートにも施設の努力が反映された回答が多く寄せられている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣の幼稚園や小学校の子供たちの来訪があり、また地域の文化祭への出品もするなど地域と交流している。また地元住民のグループが訪問し、舞踊や音楽などを披露している。</p>

## 2. 評価報告書

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしく自分らしく生きられるよう認め合い、支えあって暮らす」というこれまでの理念に、「そして地域の暖かいふれあいの中で」という文言を加え、利用者が地域の中に溶けこめるよう、さまざまな取り組みを企画し、実行している。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝の引継時や、月1回のミーティングで理念について確認している。個別計画作成や検討時にも理念を生かしたケアになっているかどうかを検討すると共に、日々のケアに生かされているかどうかの確認もしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	近隣の幼稚園や小学校から子供たちが訪問してくれたり、地域の方たちのグループが来訪し、舞踊や音楽などを披露してくれたりする。地元の文化祭である案山子祭りには利用者の作品を出品するなど、地元の人たちとの交流がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価を参考に仕事の考え方や進め方などを月1回の職員ミーティングで話し合い、改善している。今回の自己評価は職員会議での議論を経て、所長が作成した。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議のメンバーは決まっているが、まだ会議の開催には至っていない。		地域の方の協力が必要となる災害時の対応など、いざという時に地域住民の力を借りられるように、運営推進会議の開催が期待される。

埼玉県 グループホーム大浜

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	関係市町村からの見学等を受け入れている。町担当者とは随時情報交換をしている。また地域の事業者協議会を通して関係市町村とのパイプが作られている。消防署との連携は日常的にある。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族向けに「大浜だより」が発行されている。また、利用者の近況報告などについて、家族に相談しなければならないときは電話で確認している。ケアプランの説明も家族が見えたときに行い、内容について同意を得ている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族の来訪時には管理者が対応している。家族アンケートでも、施設の対応について、家族の意見を良く聞いてくれると記載されている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動について事前に利用者に伝えている。後任の担当者への引継ぎも十分行われ、今のところ利用者の混乱もほとんどない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に1回の法人の会議とユニット会議はどちらも原則全職員の参加で行われている。特にユニット会議はパート職員も含めほとんどの職員が参加している。外部研修への参加は地域柄もあり、あまり進んではいないが研修参加についての配慮はされている。		利用者への処遇の向上につなげていくためにも、職員の立場や経験に応じた段階的な研修の参加を積極的にすすめていくことが望まれる。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域の事業者と関係市町村による連絡協議会が発足(平成19年10月)し、会議に参加することにより、同業者との交流を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	契約以前に本人・家族との話し合いを行い、本人からの意見を十分聞いている。また、入居前に本人に施設や入居予定の部屋を見ていただき、感想なども聞いている。入居直後は特に、家族にできるだけ面会に来ていただき、本人が安心してできるように配慮している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	共同生活の中で、利用者同士、また利用者と職員がお互いを認め合い、支え合い、その人らしさが表出できるような暮らしを目指している。また、本人の気持ちを大切に、一方的なケアにならないよう利用者が自分らしく自然のままに暮らせるように支援し、接している。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居後はもとより、契約前から利用者一人ひとりの思いや希望を聞く仕組みは持っている。特に言語によるコミュニケーションの困難な方には、表情やしぐさなどに十分注意して観察し、体調管理などを行っている。また家族から普段の様子などもこまめに伺っている。		
15	36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	入居時は家族等からの聞き取りによる暫定プラン、入居2ヶ月後に初回プラン、6ヶ月後に見直し、その後利用者の状態に変化があったときはそのつど、特に大きな変化がない場合は6ヶ月ごとの見直しをする仕組みになっている。		
16	37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的な介護計画の見直しについては、ユニット会議等で担当や計画作成担当者からの報告や相談により検討している。しかし、利用者全員の介護計画の見直しはできていない。		介護計画見直しのシステムはできているので、利用者全員の定期的な介護計画の見直しが行えるよう改善が望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	定期的な通院はもちろん、急病時や眼科・皮膚科・整形外科など、利用者のニーズに合わせた多様な支援をしている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居後も入居以前にかかっていた医療機関の主治医に継続して受診できるようにしている。施設の提携医療機関への通院や緊急時の通院は施設が対応している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在ホームで在宅酸素療法を受けている利用者はいるが、重篤な状況の方の入居はない。法人の考え方としてできるだけ重度化や終末期へも対応しているが、家族には同一法人の特別養護老人ホームの利用も検討していただいている。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	プライバシーへの配慮や自尊心を傷つけるような言動などについて朝の引き継ぎ時やユニット会議などで職員が確認し合い、日々の対応に生かしている。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	「その人らしく、自分らしく」生きられるような支援を理念として掲げ、事務所等に大きく掲示している。日常のケアにおいても本人の楽しみごとを支援し、個別に対応している。日中活動の支援や、個人的な外出などの支援も行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は利用者の体調や好みなどを考慮しユニットごとに献立づくりから行っている。ほぼ毎日利用者と共に買い物に行き、商品を選んでもらうなどしている。調理の下ごしらえなどにも利用者が参加している。また趣味でベランダ園芸を楽しんでいる利用者の育てた野菜と一緒に収穫し、食材として生かしている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴はできる限り、利用者の意向に沿って支援している。入浴日は週4回としているが、そのつど利用者の意向や体調の観察を行い、日程や時間の変更にも柔軟に対応している。また隣市にある温泉に出かける支援も行っている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	毎日の生活の中で利用者ができることへの参加の支援(掃除や調理の下ごしらえ、ベランダでの野菜作り)をしている。また、うどんづくりや団子づくりなど季節の料理への参加も支援している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日の食材の買い物は利用者が交代で出かけている。また、個人的な外出や普段行けない所へも職員の体制を作って出かける支援をしている。独居の方が以前住んでいた家に行き、一緒に庭の草取りなどをするなどの支援もした。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は施錠はしていない。夜間は防犯のため一階の玄関のみ施錠している。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署の協力で避難訓練を定期的に行い、避難経路の確保や消火器の使用方法等の訓練を行っている。また、救急救命士による応急救護訓練や普通救命講習を実施している。しかし、近隣住民との協力体制は十分築けていないといえない。		災害時のいざという時に近隣住民の協力を得られるよう、日頃からの地域への働きかけが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	毎食、利用者の食事を個々に確認して、栄養摂取や水分補給に注意している。また、法人の管理栄養士に献立等について定期的にアドバイスを受けている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	木材をふんだんに使って、木の温もりのある居住環境が用意されている。食堂やリビングもゆったりしており、窓からは秩父の山々や荒川が一望できる。広いベランダにはベンチが置かれ自然の風を楽しめるようになっている。居間のテーブルやソファなどの配置も時には仲間と共に、時にはひとりで過ごせるよう工夫がされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室はそれぞれ使い慣れたものや親しんだものなどを持ち込んでいただいている。また、写真などもそれぞれに飾っている。利用者が心地よく過ごせるよう、職員も居室内の環境に配慮した支援を行っている。		